**第６図(A)．　2018年度採取土壌を用いた土壌細菌分画の呼吸活性(E)&(F)を説明変数，ひとめぼれの収量を目的変数とした重回帰分析結果．**

　　収量 = 11.6805\*(E)-0.7735\*(F)+462.1620

データ数15，寄与率0.479，重相関係数(R2) 0.692，自由度調整済決定係数　0.626，残差正規性のSW検定確率0.8915,　残渣の正規性ありとみなす．　重回帰式の検定利用可能とみなす．重回帰式の有効性の検定　F検定値　5.5186，自由度　2, 12，確率値　0.020，重回帰式は有効であるといえる．　AIC　142.756，DW比　1.715，　VIF値　共に1.127，　標準化係数： (E)；0.7341，(F)；-0.2751